

自主防災組織・指導役の皆さんへ:この事務連絡に先立つ作業としては以下があります。

- ・自組織以外も含めた地区の取組体制、指導役・市町の支援体制の構築
- ・想定ハザードの選定
- ・市町による地区ベースマップの作成(可能なら、まち歩き結果を入力済のもの)

事 務 連 絡
年 月 日

各 位

○地区自主防災会 会長 ○○ ○○

風水害・土砂災害からの避難の事前検討について（依頼）

日頃は○地区自主防災会の活動にご協力いただきありがとうございます。

近年、風水害が激しくなる中で、平成30年7月豪雨での倉敷市真備町の被災などから、避難をあらかじめ考えておくことが必要と言われ出しています。

このたび、当地区では○市からの声かけもあり、事前に風水害・土砂災害からの避難を考えることにし、その1回目の会合として○月○日に個人の計画の作成方法の説明を受けました（新型コロナウイルス対策により役員限定開催）。

お忙しいところ恐縮ですが、下記及びp2,3により、皆様におかれましても、ぜひ避難について事前に検討し、用紙にご記入、ご提出いただきますよう、お願いいたします。

ご不明な点は当会役員・下記の担当者までお問い合わせください

記

- 1 提出希望日・提出先 年 月 日 () 各組長へ提出してください。
- 2 提出物 ①避難マップ
②Myタイムライン
- 3 記入方法 p2,3のとおり。
また、連絡先等の用紙の「あなたの情報」欄に名前と住所を記入してください。
- 4 今後の予定等 p4のとおり
- 5 その他 提出物は集約作業を行う第三者へ提供し、個人名がわからない形にして検討の資料とします。ご了解をお願いします。
- 6 お問い合わせ先 ○地区自主防災会 避難班長 ○○○○
電話 XXX-XXXX

配付物 (2)～(4)は、(1)の避難計画作成の参考資料です。

- 1) 個人の避難計画の用紙
- 2) ○市ハザードマップ
- 3) 三重県防災ガイドブック(部分)
- 4) 内閣府資料「避難行動判定フロー」説明物

・・避難マップの書き方・・

①ご自宅でおそれのある災害（ハザード）の確認

- ・色が塗られているのは浸水か土砂災害のおそれがある所です。
- ・過去のまち歩き結果が記載されている場合はそれも参考にしましょう。

「あなたの情報」欄にお名前を記入してください。避難先（候補 2 箇所）と経路を家族で話し合ってください。

①自宅に●（黒丸）を記入し、避難先（第一候補）とそこへの経路をなぞって、

1と番号を付けてください。交通手段（歩き等）を記入してください。

※避難場所は、市町で決めた場所や、自主防災組織で決めてある場合があります。この地区は、第一候補は

（次に登場）第二候補は

- ・距離との兼ね合いもありますが、色が塗られているところは避けましょう。

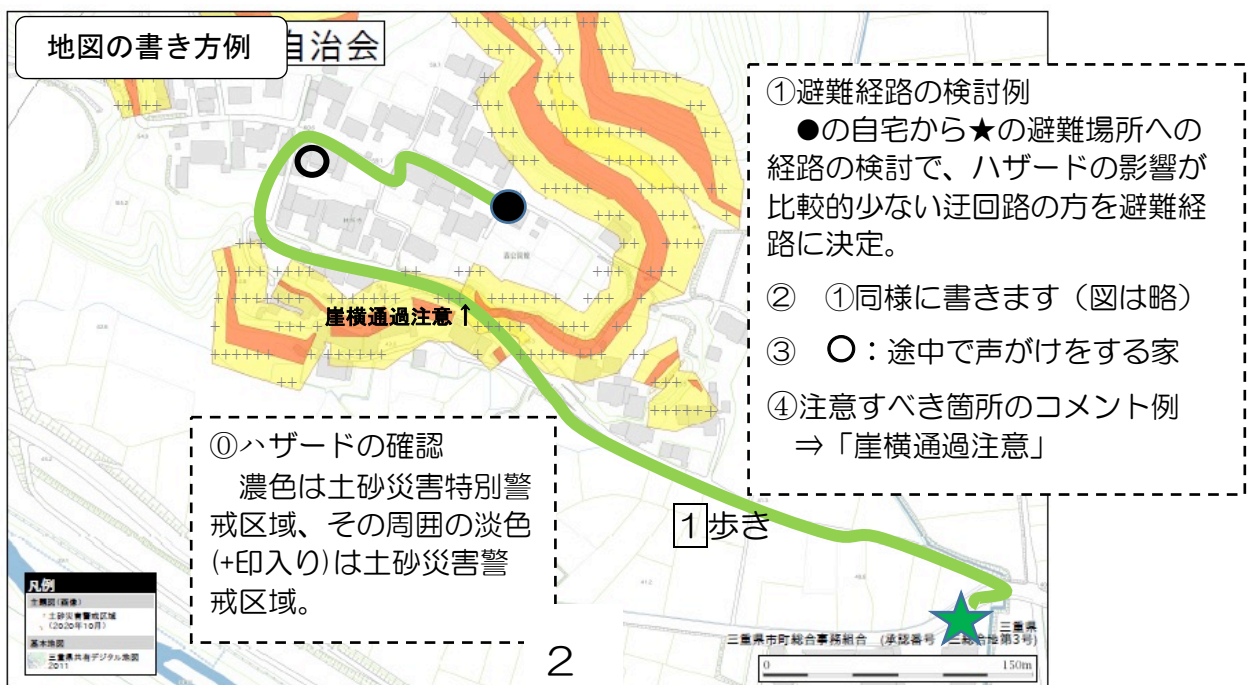
②ご自宅からの避難先（第二候補）とそこへの経路をなぞって、

2と番号を付けてください。交通手段（歩き等）を記入してください。

③誰と一緒に逃げますか？ もしくは誰に声をかけますか？ その方がお住まいの家に○を付けてください。

④避難経路において、危険箇所、不安に思っていること等書いておきましょう。

⑤地図上で確認したら、実際に歩いて確認してみましょう。



••Myタイムラインの書き方••

•Myタイムラインとは、ご自身の避難のタイミングとして、避難までの準備をあらかじめ考えておくものです。「避難行動判定フロー」で避難するかなどを検討してから作業にかかりましょう。

ただし、危険を感じたらこれによらず避難します。一方で逃げ遅れた場合は、自宅のより安全な部屋に移るなどできる最善の行動をとります。

•避難するきっかけになる「警戒レベル」とは、市町から出される避難情報で、例えば、警戒レベル3が発表されると、「危険な場所から高齢者等は避難」するとされています。また、気象情報も、例えば「大雨警報」は警戒レベル3に相当するということのように、関連付けられています（「警戒レベル相当情報」といいます）。
（資料4）p3, 4 参照）

Myタイムラインの書き方

①（Myタイムラインの準備）避難行動判定フロー

- 問いかけに応じ、矢印をたどり、最後に警戒レベルに応じた行動が出ています。
- その準備を次のMyタイムラインで検討します。

①避難先（2箇所）を書きます。

②警戒レベル(相当)のどのタイミングで、誰が避難を始めるかを書きます
（資料4）p3参照）。

③避難を始めるまでにすること（誰がするかも含め）と、時間を書きます。

例：○が地図を確認（ハザード・経路）
△が愛犬ポチを高台の知人に託す
△が非常持ち出し品を玄関先へ
○が定時のニュース等を確認
※○と△各々で所要時間を合計します。

④地域に対する行動を考え、書きます。
例：警戒レベル発令をお隣に伝達
避難の道中で○さんに声がけ

これでMyタイムラインの完成です。

Myタイムラインの出力シート

警戒レベル	1	2	3	4	5
災害庁発表情報	早期注意情報	大雨・洪水注意情報	大雨・洪水警報	大雨特別警報	大雨特別警報
気象庁発表情報	早期注意情報	大雨・洪水注意情報	大雨・洪水警報	大雨特別警報	大雨特別警報
河川防災情報	注意情報	注意情報	注意情報	注意情報	注意情報
避難情報	避難情報	避難情報	避難情報	避難情報	避難情報
避難行動判定フロー	避難行動判定フロー	避難行動判定フロー	避難行動判定フロー	避難行動判定フロー	避難行動判定フロー

警戒レベル等
発表される情報

②警戒レベル3で避難する人はここへ、4の人は右列へ各々書きます。

③避難までにすることと時間を書きます。

④地域に対する行動を書きます。

①2つの避難先を書きます。

事前検討の取組の今後の予定

- ・自主防災会から回覧などで全体的な進み具合や参加いただく行事案内をお伝えします。
- ・訓練も計画します。事前に検討した避難経路や My タイムラインを試せるよい機会ですので、ふるってご参加ください。

- ・当地区として一定の避難のルールが整理できた場合は、「地区防災計画」として市に提案することを考えています。

・・連絡先等の参考・・

一旦提出いただいた用紙は返却しますので、その後、連絡先等を記入してください。それが終われば個人の避難計画の完成です。

非常持ち出し品のひとつとしたり、見やすい所に貼るなどしましょう。

・・・もし、あなたやご近所の方が避難に不安をおぼえるなら・・・

「避難行動要支援者」(*1) という法上の位置づけがあり、市町の方針により該当する方には働きかけがなされています。

ただ、実際に避難を手伝うのは住民のみなさん相互であることが一般的と思われ、法上の位置づけに関わらず、自主防災組織(自治会)で安否確認や避難時の支援方法(個別避難計画。*2)を考えていることもあります。自分でできることはしたうえで、できないことについては一度役員の方などに相談するのもよいでしょう。

現時点では支援なしで避難できても、災害でけがをして「特に支援を要する状態」になるかもしれません、そういったことも含め事前に考えておきたいところです。

参考 避難行動要支援者の個別避難計画について

*1 避難行動要支援者

要配慮者のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方のことです。法による市町の取組として、同意を得て支援する方に名簿を提供すること、一人ひとりの個別避難計画を作成することなどがあります。

*2 個別避難計画

避難行動要支援者ごとに避難支援を行う者や避難先等の情報を記した計画のことです。今回お配りした用紙には(現時点での)、個別避難計画の内容を含めています。ここまでで作っていただいたこの紙を市町への提出物にできないかも検討しています(現時点では制度の詳細が不明なので確定物ではありません)。